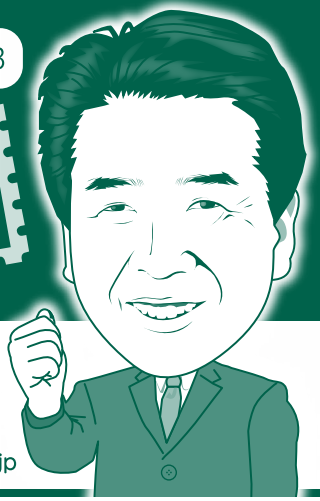
札幌市議会 市政報告 vol.17 2018.3

林せいじ 市政だより



市民が主役の街づくり。

［発行者］札幌市議会民進党市民連合
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 ☎011-211-3212
林せいじ事務所 〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
☎011-775-6321 FAX011-775-6322
URL http://hayashi.main.jp/ E-MAIL hayasi-seiji-jimusyo@biscuit.ocn.ne.jp

第1回定例市議会開会

2018年度予算案審議開始

札幌市議会第1回定例会は2018年2月21日開会しました。主な議案は新年度予算案です。一般会計で初の1兆円を超える大型予算となり、全会計予算総額は約1兆6千億円となります。　新年度予算の柱は、子ども子育て支援、経済雇用対策、女性の活躍支援などの施策を多く盛り込み札幌市の人口減少対策に配慮した予算編成にもなっています。会派として昨年市長に対して予算要望を行いました。要望書では、人口減少対策、北海道新幹線の札幌延伸、子どもの貧困対策、冬季オリンピック・パラリンピック招致、女性の活躍推進の5項目の重点要望のほか、8分野120項目を取りまとめ要望しました。予算案では、多くの施策に反映されており、評価できる予算となっています。

我が会派は代表質問冒頭で、1月31日に発生した東区の共同住宅火災で、お亡くなりになられた方への哀悼の意を表し、負傷された方々の回復を願っていることを述べて今後各部局が連携し、火災原因の究明、類似施設の実態把握などに努めるよう求めました。北区にも同じ団体の類似施設があることから、今後同様のことがおきないように市の対応を求めて行きます。

今後の札幌市の持続的な発展に向けて、伸び悩む税収入、長期的財政バランスの維持、市有施設の更新など課題は多くあり、定例会の中で施策に対して会派で意見提言していき、市民生活の向上と市の持続的発展に向けた予算となるよう努力していきます。

札幌市議会議員　林　せいじ

2018年度 札幌市予算のポイント

女性の活躍推進

女性が様々な場面で能力を発揮し、地域が活性化する好循環を創出！

女性の希望：子育て、就労継続、再就職、キャリアアップ ⇔ 担い手確保、業績の改善：企業の成長

市民や企業が支え合い、女性の希望がかなうまちへ

課題

◎多様な悩みへの対応体制の不足
◎子どもを預けられる環境の不足

ワンストップ窓口 新規

◆女性の多様な働き方支援窓口運営（58百万円）
就労などへの漠然とした悩みから対応し、各種支援につなげる女性専用の相談拠点を新設乳幼児健診や子育てサロンでの出張相談も実施

子育て環境の充実 拡充

◆私立保育所等整備補助関連（4,378百万円）
さらなる整備促進により、保育定員を約2千人分拡大
◆保育士等支援（31百万円）
潜在保育士の復職支援や施設とのマッチングを強化
◆子育て援助活動支援（38百万円）
子ども預かり支援の事前手続きを円滑化

女性の希望をかなえる！

課題

◎女性を含む周囲の意識

社会の意識改革 新規

◆さっぽろ女性活躍・働き方改革応援事業（8百万円）
官民連携により、女性に限らず、企業や男性も参加する、様々なテーマの分科会からなるフォーラムを開催

市民や企業が支え合う！

課題

◎企業のノウハウの不足
◎取組企業に対する支援の不足

企業に対するノウハウ支援 拡充

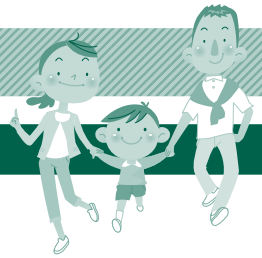
◆女性社員の活躍応援事業（23百万円）
経済界と連携して「改善モデル」づくりを実践
女性社員向け・企業向けのセミナーや出前講座を実施

取組企業に対する支援の充実

◆男女共に活躍できる職場づくり応援事業（9百万円）
女性活躍推進等に取り組む企業の認証や支援を実施
◆中小企業金融対策資金貸付 拡充
（77,000百万円）
女性活躍推進等に取り組む中小企業を追加
◆テレワーク・業務管理システム普及促進 拡充
助成メニューの追加・企業数の増
（6百万円）

働きやすい企業を広げる！

子どもの育成支援



子育て世帯の負担軽減

◆子ども医療助成（3,442百万円）
中学校修了前の子どもにかかる医療費の一部を助成

助成対象を拡大！ 拡充 小学校１年生の通院を助成対象に追加するとともに入院時の自己負担額を軽減

◆就学援助（948百万円）
経済的な理由で就学困難な小中学生に対し学用品費等を支給

支給対象費目を追加 拡充 支給対象費目に中学校における生徒会費を追加

◆高等学校等生徒通学交通費助成（104百万円） 新規
石狩管内の高等学校等への通学費のうち、基準額を超える額の一部助成により、親の所得に拠らない進路選択を支援

子どもの貧困対策

◆子どもの貧困対策推進（11百万円） 新規
子どもの成長や将来的な自立において、主に経済面で様々な困難を抱えている子どもや世帯に対する支援の推進

○支援機関の連携体制強化
様々な分野の子ども支援機関等と連携し、困難を抱える子どもや世帯を必要な支援に結び付けるモデル事業を実施

○地域における子どもの居場所等の周知
子ども食堂などの地域における子どもの居場所や、子どもの貧困の現状等を広く周知し、困難を抱えた子ども等を地域全体で支えるまちづくりを推進

相談支援体制の充実

◆スクールソーシャルワーカー活用（25百万円）
児童・生徒のいじめや不登校、家庭環境等の困りごとに対する専門的知識・経験による支援

相談体制強化！ 拡充　スクールソーシャルワーカー増員による支援体制強化
29年度10名→30年度17名

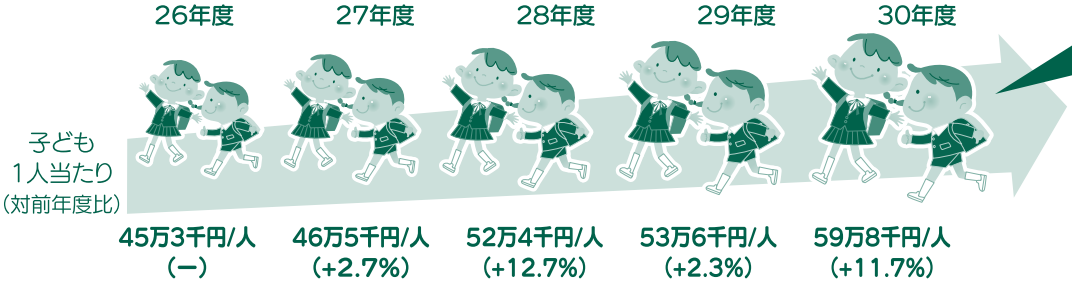
◆スクールカウンセラー活用（225百万円）
臨床心理士、医師等による、子ども・保護者との教育相談や心理教育等

◆相談支援パートナー事業（92百万円）
不登校やその心配のある子どもに対する、校内の別室における学習支援等

◆ひきこもり対策推進 拡充　**（18百万円）**
ひきこもりに特化した専門相談窓口運営のほか、家族や当事者が相談しやすい支援拠点の試行開設

生まれ育った環境に左右されることなく子どもが健やかに育つまちへ！

過去5年間の子ども関連予算額（子ども1人当たり）の推移



市長の現任期中に
14万5千円/人増！

注）予算額は各年度における当初予算額、子ども人口は各年度の4月1日現在の0～18歳人口（ただし30年度は30年1月1日現在）

【参考】29年度他政令指定都市平均50万8千円/人　※札幌市調べ

北区の大型事業

都心部の再開発事業等

◆北8西1地区再開発事業（622百万円）
オフィスやホテルを整備し、札幌の経済・観光を活性化するとともに、環境にやさしいエネルギーの利用で環境負荷を低減

JR駅周辺のまちづくり

◆篠路駅周辺地区まちづくり推進事業（鉄道高架事業・土地区画整理事業等）（560百万円）
鉄道による市街地の分断解消や交通混雑の緩和を図るとともに、篠路駅東側の社会基盤整備を進めるなど、地域交流拠点にふさわしいまちづくりを推進

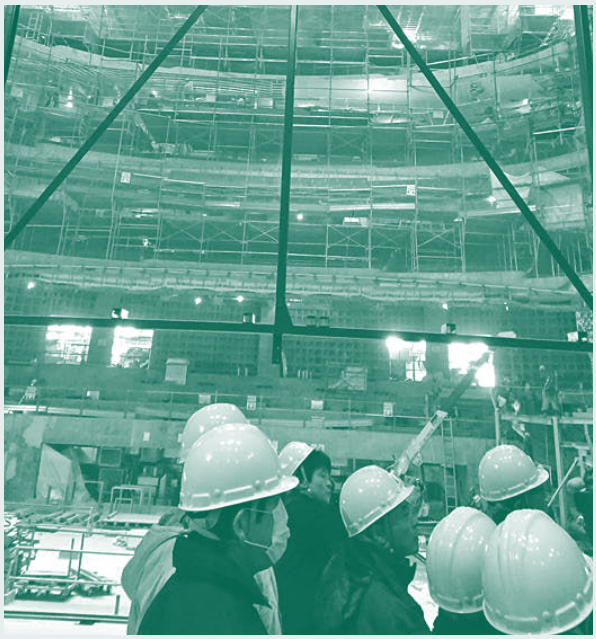
林せいじ活動報告

財政市民委員会市内施設視察

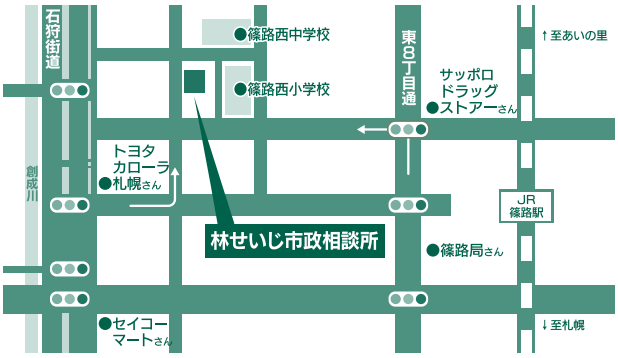
市民交流プラザ視察報告

2月22日に私が委員長をしている、市議会財政市民委員会で北1条西1丁目に建設中の市民交流プラザを視察してきました。工事中の札幌文化芸術劇場に関心が集まる中、初めて関係者以外に開放されることになり、報道機関からの問い合わせも多くあり、劇場内部だけ取材が可能となりました。10月の開館後のこけら落とし公演の周知も始まり市民の関心が高まっていることもあり、多くの報道機関の取材が入り、ニュースや新聞でも取り上げられました。

報道機関に公開したのは劇場だけでしたが、私たちは他の施設も視察させていただきました。札幌文化芸術センターや図書・情報館なども視察できました。都心にふさわしいイベントやビジネスサポートなどが検討されており、完成が待たれる施設です。



お知らせ

市政相談の際は、
お気軽にお立ち寄りください。

〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
TEL 011-775-6321　FAX 011-775-6322